



上尾の児

埼玉県立上尾特別支援学校

令和元年8月28日

「開く」

校長 井上 隆

長い夏休みが終わり、本日から学校が再開しました。児童生徒皆の笑顔が見られて本当にうれしく思います。やはり、子供たちの元気な笑顔や声があるからこそ、学校であるとあらためて思います。

さて、皆さんご存じのとおり、9月20日(金)から11月2日(土)まで、ラグビーワールドカップ2019が日本で開催されます。熊谷ラグビー場でも、ロシア対サモア(9/24)、ジョージア対ウルグアイ(9/29)、アルゼンチン対アメリカ(10/9)の3試合が予定されています。埼玉県で直に試合が見られることをうれしく思いますが、いかがでしょうか。日本の頑張りにも期待したいですね。

ラグビーワールドカップ
マスコット「レンジー」

ところで、池井戸潤さん作の「ノーサイドゲーム」という小説をご存じですか。某テレビ局で放映していますが、社会人ラグビーがモチーフとなっています。この中には、廃部寸前の弱小チームが地元でチームの存在を認めてもらおうと積極的にボランティアをするという内容が描かれています。民間企業としては、多くの観客を動員することが経営として必要なことから、そのためには、まず地元からということでしょうか。ただ、来てもらうのを待つのではなく、知ってもらおう、来てもらうために自ら行動を起こしたのです。このことは、学校にも通じるものがあると思いました。

新しい学習指導要領では「社会に開かれた教育課程の実現に向けたカリキュラムマネジメント」が取り上げられています。このことは、如何に社会とのつながりを考え、学習を展開していくことが大切かということではないかと思えます。ラグビーチームが進んで地元とのつながりのために一歩外にでたように、学校も情報の発信はもとより、学習として地域に出ていくなど、つながりを大切にした取組が必要なのではないかと思えます。

現在、本校では、支援籍学習、交流・共同学習、産業現場等における実習など、地域とかかわりを持った教育活動を学年、学部等の状況に応じて実施しています。学校の中だけで終わるのではなく、近隣社会に受け入れてもらいながら児童生徒のこと、学校のことを理解してもらえようという開かれた教育が大切であると考えます。支援籍学習での地元学校の子供たちとの触れ合い、交流・共同学習における同年代の子供たちとの触れ合い、産業現場等における実習での社会人との触れ合い、それらが、本校の児童生徒にとって大切な教育であると思えます。これら以外にも、様々な教育活動を展開しておりますが、さらに、あたらしいつながりも考えていければと思い、近隣の大学の御協力をいただき、海外からの留学生の方に授業に参加していただく取組も始めました。開かれた教育を展開するためには、まず、外に向けて心を開くことが大切ではないかと思えます。

これからも、皆様からの御支援をいただきながら、さらに、本校の教育を「開く」ことに取り組んでいきたいと思えます。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。



小学部 小低親子レク



6月25日(火)に親子レクが行なわれました。前日の雨模様が嘘のように晴れ、蒸し暑い日になりましたがみんな元気に活動できました。ミニ運動会では、体育で行なっている的当てや赤白に分かれて玉入れを行ないました。それぞれが落ちているボールを拾ってたくさん投げることができました。後半は、「お誕生月のうた」や「きっとできる」などを元気に踊りました。とても嬉しそうに活動する子供たちをたくさん見ることができてよかったです。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



中学部 校外宿泊学習

中学部1・2年生は、6月20日～21日に校外宿泊学習で行長瀬方面に行って来ました。二日間とも梅雨の中休み。天候に恵まれ、宝登山の登山、キャンプファイヤー、長瀬散策、川の博物館見学と、盛りだくさんの活動を予定通りにこなすことができました。また、自分の係の仕事や役割を果たすこと、友達と協力することの経験もできました。大いに頑張り、大いに楽しんだ宿泊学習となりました。



高等部 前期校内実習

6月24日から6月28日に高等部前期校内実習を行いました。A班はシャーペンの組立て、検品(5000本)。B班は手帳の解体、検品(3t)。C班はリサイクル活動。3つのグループに分かれて仕事をしました。1年生は初めての校内実習でしたが、先輩の働く姿をみて、5日間一生懸命働くことができました。実習中は、「挨拶・返事」「報告・連絡・相談」「集中」「時間を守る」の4つの目標を意識して取り組むことができました。

この実習を通して、働くことについて考え、仕事に対する役割意識や責任感、卒業後に向けての適応力を養う良い機会となりました。「ゆりの木カンパニー」見事、目標達成です!!

